

大量の草等を運ぶ災害ボランティアの皆さん



まつだの心を被災地に！

松田町の皆さんが

陸前高田市で災害ボランティア活動



吉田正子さん
(陸前高田市在住)

このように、2日間に渡る作業の中で、被災された方と支援隊の皆さんが打ち解けて交流されていました。

ボランティア支援依頼主の吉田正子さんからは、ボランティアに参加した皆さんが汗を流しながら精一杯に作業している姿を見て、「本当にありがとうございます」と支援隊の皆さんに感謝の言葉がありました。また、吉田さんは、「被災後も地元で何とか頑張っている姿などをこれからも忘れないでほしい」と語り、その願いを込めて、津波に襲われた農地で見事にその花を咲かせた「ヒマワリの種」をボランティアの皆さん一人ひとりに手渡し、「松田町でも育てて、花を咲かせてほしい」とお話しされていました。

ボランティアの皆さんは10月7日夜に松田町を出発し、翌8日の朝から9日の午前中にかけて、陸前高田市で津波被害の大きかった米崎町の家屋敷周辺でボランティア作業をされました。このボランティア作業の実施場所は、被災者の方からの要請（ボランティア支援依頼）により、同市災害ボランティアセンターが各ボランティアのグループごとに人数等を勘案して割り振って決められます。作業は、主にがれき等撤去班と草刈り班との2班に分かれて作業されました。がれき等撤去班は、がれきの撤去に加え、流木の掘り起こしと撤去、釘やガラスなどの危険物の除去を行い、草刈り班は、縦幅2m×6mの畑の法面の草刈りとその片付けを行い、かなりの広範囲に及ぶ作業となりました。

復興に向けてボランティア作業に従事
10月8日から9日にかけて、松田町在住・在勤の皆さん計40名が、東日本大震災によって甚大な被害を受けた陸前高田市で、災害ボランティア活動に従事されました。町社会福祉協議会が募ったボランティア派遣には、松田町の有志の方々が結成した「まつだボランティア支援隊」を中心に、中学1年生から74歳までといった様々な年齢層の皆さんが参加しました。なお、この災害ボランティア派遣は、神奈川県共同募金会の「たすけあい福祉資金」を用いて、実施されました。



1カ所に集められたがれきや草等



急勾配な法面での草刈り



流木を掘り起こす作業